

プロフィシェンシー重視の日本語教授法

～『できる日本語』で、教師・学習者はどう変わったのか?～

講師：嶋田 和子 氏

(一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)

開催日時： 2015年10月24日(土) 15:00 - 17:00

会場： 上智大学四谷キャンパス 12号館 1階 12-102 教室

対象： 日本語・言語教育全般に関心のある教員および学生(学外可)

参加方法： 事前申込不要・参加費無料

(会場定員に達し次第、受付を終了させていただきますのでご了承ください)

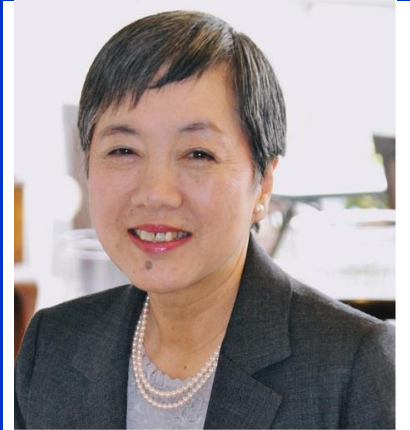
今、日本語教育の世界では、言語的知識にばかり目を向けるのではなく、コミュニケーション力も重視した新しい教授法が広がっています。それは、知識か運用かという二項対立的な考えではなく、その融合をめざした「プロフィシェンシー重視の教授法」であると言えます。

この考えた方に基づいて誕生した『できる日本語』シリーズは、教育現場で、長い年月をかけて、大勢の教師が協働することで生まれました。そこには、つねに教師間・教師と学習者・学習者間、そして日本語教師と出版社スタッフとの多様な「対話」がありました。

学習者が「自分のこと／自分の考えを伝える力」「伝え合う・語り合う日本語力」を身につけることを目的とし、日本語によるコミュニケーションの中でも「対話力」に重きをおき、人とつながる力を養うことをめざして作られた『できる日本語』を軸に、当日は、皆さんとご一緒に多様な「対話」を楽しみたいと思います。学習者も教師も「わくわくするような授業」、それがプロフィシェンシー重視の教授法がめざす教育実践であることをお伝えしたいと思います。

講演者紹介

略歴：津田塾大学英文科卒業後、外資系銀行に勤務。十数年の専業主婦時代を経て、日本語教師となる。いくつかの日本語学校で非常勤をした後、1990年より学校法人イーストウエスト日本語学校に勤務。教務主任、副校長を経て、2012年退職。退職と同時に、一般社団法人アクラス日本語教育研究所を設立し、代表理事となる。現在は、早稲田大学大学院、清泉女子大学などいくつかの大学で非常勤講師を務め、日本語学校や地域の日本語教育にも力を入れる。公益社団法人日本語教育学会副会長、ACTFL-OPI トレーナー。主な著書として『目指せ、日本語教師力アップ』ひつじ書房、2008、『プロフィシェンシーを育てる』凡人社、2008、『対話とプロフィシェンシー』凡人社、2012、『談話とプロフィシェンシー』凡人社、2015、などがある。また、プロフィシェンシー重視の教科書である『できる日本語』シリーズの監修・著者。



主催：上智大学言語教育研究センター

[お問い合わせ] TEL: 03-3238-3699 E-mail: info_cler@sophia.ac.jp